

# 「防腐処置における液中ホルマリン濃度の推移調査」へ

## ご協力をお願い

—2018年9月1日から2023年3月31日の間に  
岡山大学において献体をされたご遺族の方へ—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究機関長 那須 保友

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 人体構成学 教授 大塚 愛二

研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 人体構成学 助教 品岡 玲

岡山大学歯学部 人体構成学 技術専門職員 小見山 高明

岡山大学医学部 人体構成学 技術専門職員 大杉 博幸

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

人体解剖は、医学・歯学の教育・研究にとってなくてはならないものです。使用されるご遺体は解剖される前に、適切な防腐処置を行われ、長い使用に耐え、よく勉強ができるようになります。

この、防腐処置を評価することは難しかったのですが、超微量の組織液よりホルマリン濃度の測定を簡単に評価できるようになりました。

献体をしてくださる方々の志のためにも、この技術を使って、よりよい解剖体を作成し、多くの学生・医療関係者が深い解剖的理解をできるように、この研究を行いたいと思います。

尚、この研究に参加されましても、通常の系統解剖が行われます。参加による不利益はございません。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

より深い解剖的理解を、学生・医療関係者にもたらし、医療の発展につながります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2018年9月1日～2023年3月31日の間に岡山大学において献体された方450名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日

### 3) 研究方法

2018年9月1日～2023年3月31日の間に岡山大学において献体された方

を防腐処置する際に超微量の組織液を採取し、ホルマリン濃度を測定しホルマリン濃度がどのように変化するかを確認し防腐処置を改善いたします。

#### 4) 使用する試料

使用する試料は超微量の組織液です。

また、ご遺体の氏名などの情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、献体時の記録から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、ご遺体の氏名などの情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、手術歴、既往歴、死亡後処置（ドライアイスの有無など）

#### 6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学人体構成学で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 7) 研究計画および個人情報の開示

ご遺族の希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は個人情報が分からない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学歯学部 人体構成学

氏名：小見山 高明

電話：086-235-7092（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-235-7095